

3 特 別 会 計

1) 概 況

特 別 会 計 歳 入 歳 出 決 算 総 括

(単位：円、%)

区 分 特別会計名		予算現額 (A)	歳 入		歳 出		歳入歳出 差 引 額 (B-C)
			決算額 (B)	執行率 (B/A)	決算額 (C)	執行率 (C/A)	
交 通 事 業		205,347,000	205,333,166	99.99	205,333,166	99.99	0
国民健康保険事業		5,906,876,000	5,915,446,382	100.14	5,876,755,852	99.49	38,690,530
魚 市 場 事 業		175,244,000	175,204,156	99.97	175,204,156	99.97	0
介護 保険 事業	保険事業勘定	5,896,794,000	5,894,527,987	99.96	5,875,475,015	99.63	19,052,972
	介護サービス 事業勘定	490,000	487,425	99.47	487,425	99.47	0
後期高齢者医療事業		805,657,000	818,709,979	101.62	805,152,279	99.93	13,557,700
合 計		12,990,408,000	13,009,709,095	100.14	12,938,407,893	99.59	71,301,202
前 年 度 合 計		12,875,179,700	12,881,987,528	100.05	12,815,271,173	99.53	66,716,355
対前年度 比較増減	増 減 額	115,228,300	127,721,567	-	123,136,720	-	4,584,847
	増 減 率	0.9	1.0	-	1.0	-	6.9

各特別会計合計の予算現額 12,990,408,000 円に対し、歳入決算額 13,009,709,095 円(執行率 100.14%)、歳出決算額 12,938,407,893 円(執行率 99.59%)、歳入歳出差引で 71,301,202 円の黒字で決算されている。

本年度の決算額を前年度と比較すると、歳入では 127,721,567 円(1.0%)の増収、歳出でも 123,136,720 円(1.0%)の支出増となり、歳入歳出差引額では前年度より 4,584,847 円(6.9%)増となっている。

各特別会計別にみると、国民健康保険事業で 38,690,530 円、介護保険事業保険事業勘定で 19,052,972 円、後期高齢者医療事業で 13,557,700 円の黒字で決算となっている。

そのほかの特別会計については歳入歳出同額で決算されている。

なお、各特別会計の本年度歳入歳出決算状況は次に示すとおりである。

2) 会 計 別

(1) 交 通 事 業 特 別 会 計

① 実 質 収 支

本特別会計は、下表のとおり歳入歳出同額で決算された。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	前年度決算額	比 較 増 減	決 算 額 対 予 算 現 額
歳 入	205,347,000	205,333,166	203,559,206	1,773,960	99.99
歳 出	205,347,000	205,333,166	203,559,206	1,773,960	99.99
差 引	0	0	0	0	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
令 和 5 年 度		205,347,000	205,333,166	205,333,166	0	0	100.00
令 和 4 年 度		203,582,000	203,559,206	203,559,206	0	0	100.00
比 較 増 減	増 減 額	1,765,000	1,773,960	1,773,960	0	0	-
	増 減 率	0.9	0.9	0.9	-	-	-

収入済額を前年度と比較すると 1,773,960 円 (0.9%) の増収となっている。その内容は【表 1】に示すとおり、国庫支出金、事業収入等の増によるものである。

【表 1】 款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
事 業 収 入	59,844,248	29.1	59,081,708	29.0	762,540	1.3
国庫支出金	51,928,504	25.3	46,034,813	22.6	5,893,691	12.8
繰 入 金	93,548,314	45.6	98,442,585	48.4	△4,894,271	△5.0
諸 収 入	12,100	0.0	100	0.0	12,000	12,000.0
合 計	205,333,166	100.0	203,559,206	100.0	1,773,960	0.9

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
令 和 5 年 度		205,347,000	205,333,166	0	13,834	99.99
令 和 4 年 度		203,582,000	203,559,206	0	22,794	99.98
比 較 増 減	増 減 額	1,765,000	1,773,960	0	△ 8,960	-
	増 減 率	0.9	0.9	-	△ 39.3	-

支出済額を前年度と比較すると 1,773,960 円(0.9%)増加している。その内容は【表 2】に示すとおり、事業費の増によるものである。

なお、本年度末における市債の未償還現在高は 65,337,760 円となっている。

【表 2】 款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
事 業 費	187,851,308	91.5	186,077,302	91.4	1,774,006	1.0
公 債 費	17,481,858	8.5	17,481,904	8.6	△ 46	0.0
合 計	205,333,166	100.0	203,559,206	100.0	1,773,960	0.9

④ 事 業 内 容

輸送人員と輸送貨物の 5 か年度の推移は【表 3～4】および図 1～2 のとおりである。

【表 3】 輸 送 人 員 の 推 移

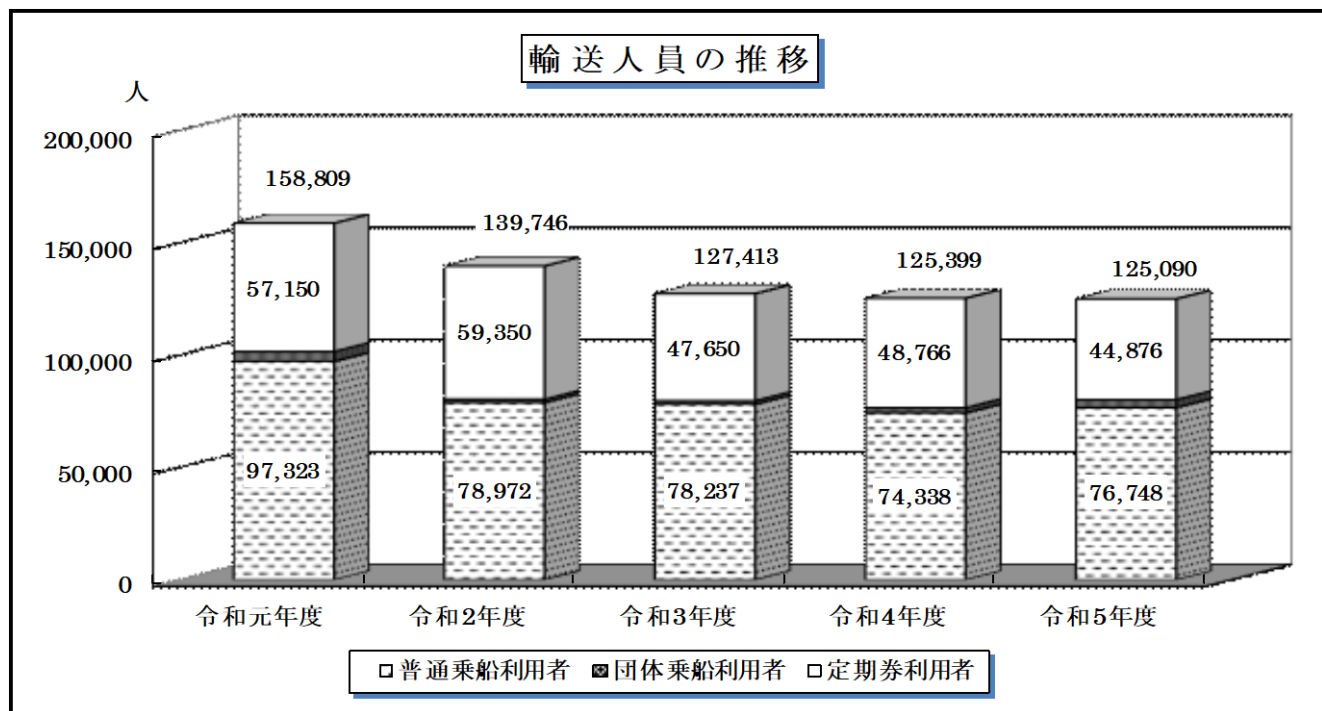
年 度 区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
輸 送 人 員 (人)	普通乗船利用者	97,323	78,972	78,237	74,338	76,748
	団体乗船利用者	4,336	1,424	1,526	2,295	3,466
	定期券利用者	57,150	59,350	47,650	48,766	44,876
	合計輸送人員	158,809	139,746	127,413	125,399	125,090

区 分 \ 年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
すう勢比率(%)	普通乗船利用者	100.0	81.1	80.4	76.4	78.9
	団体乗船利用者	100.0	32.8	35.2	52.9	79.9
	定期券利用者	100.0	103.8	83.4	85.3	78.5
	合計輸送人員	100.0	88.0	80.2	79.0	78.8

(注) 1 計数は内航旅客定期航路事業運航実績報告書による。

2 すう勢比率は令和元年度を基準年度とした。

図 1



【表 4】

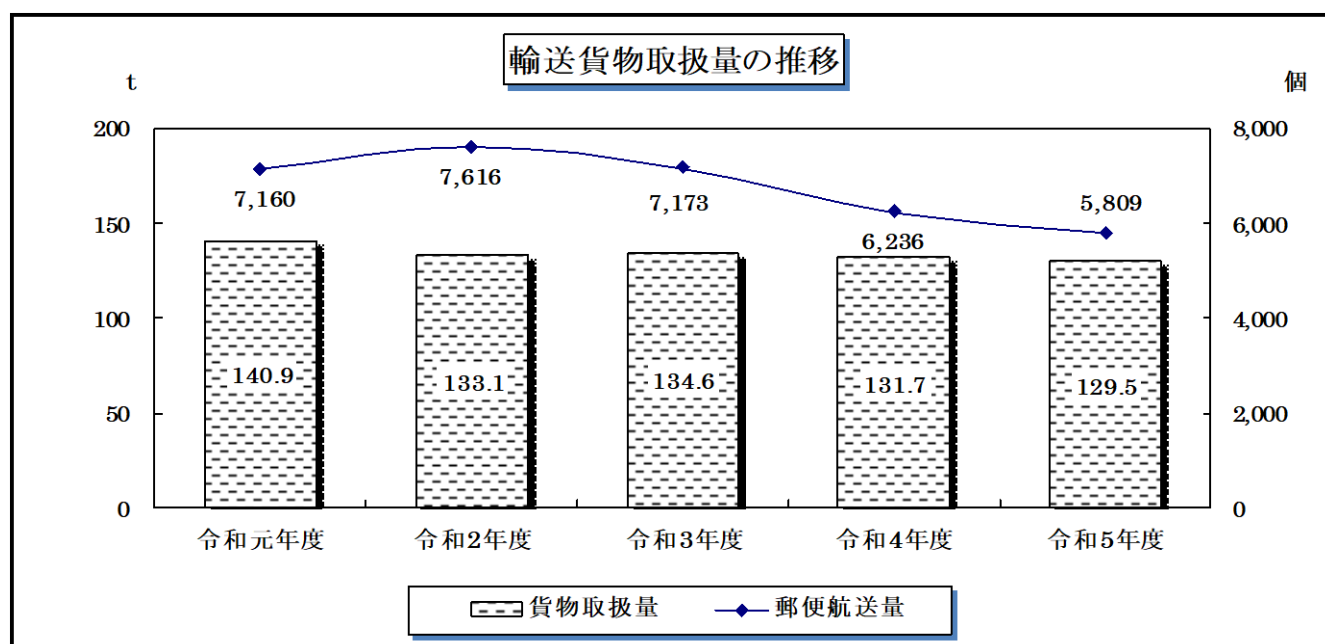
輸送貨物取扱量の推移

区 分 \ 年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貨取扱物量	貨物取扱量(t)	140.9	133.1	134.6	131.7	129.5
	郵便航送量(個)	7,160	7,616	7,173	6,236	5,809
すう勢比率(%)	貨物取扱量	100.0	94.5	95.5	93.5	91.9
	郵便航送量	100.0	106.4	100.2	87.1	81.1

(注) 1 計数は内航旅客定期航路事業運航実績報告書による。

2 すう勢比率は令和元年度を基準年度とした。

図 2



⑤ む す び

本年度は、歳入歳出同額の 205,333,166 円で決算されている。

歳入では、前年度と比較して、1,773,960 円(0.9%)増加となっている。その内訳は、国庫支出金で 5,893,691 円(12.8%)、事業収入で 762,540 円(1.3%)、諸収入で 12,000 円(12,000.0%)それぞれ増となったことによるものである。

歳出も、前年度と比較して、1,773,960 円(0.9%)増加となっている。その内訳は、公債費で微減となったが、事業費の運航費で修繕費や燃料費が増となったことによるものである。

本年度の輸送人員は 125,090 人で、前年度より 309 人(0.2%)減少している。その内訳は、普通乗船利用者が 2,410 人(3.2%)、観光客などによる団体乗船利用者が 1,171 人(51.0%)増加となったものの、定期券利用者が 3,890 人(8.0%)減少したことによるものである。

コロナ禍の影響は和らいだとはいえ、島民の減少など今後も厳しい状況が続くと考えられる。島の魅力の情報発信等に努め、交流人口の増などにより乗船客数の増加に努められたい。

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 実 質 収 支

本特別会計は、下表のとおり歳入歳出差引 38,690,530 円の黒字となり、全額基金に繰入れて決算された。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	前 年 度 決 算 額	比 較 増 減	決 算 額 対 予 算 現 額
歳 入	5,906,876,000	5,915,446,382	5,770,600,137	144,846,245	100.14
歳 出	5,906,876,000	5,876,755,852	5,740,197,754	136,558,098	99.49
差 引	0	38,690,530	30,402,383	8,288,147	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 損 額 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
令 和 5 年 度		5,906,876,000	6,164,564,631	5,915,446,382	11,452,439	239,633,886	95.95
令 和 4 年 度		5,770,360,000	6,032,284,785	5,770,600,137	16,456,985	247,819,024	95.66
比 較 増 減	増減額	136,516,000	132,279,846	144,846,245	△5,004,546	△8,185,138	-
	増減率	2.4	2.2	2.5	△30.4	△3.3	-

(注) 収入済額は、還付を要する額(5年度 1,968,076 円、4年度 2,591,361 円)が含まれている。

収入済額を前年度と比較すると、金額では前年度より 144,846,245 円(2.5%)の増収となっている。その主なものは【表 1】に示すとおり、繰入金 157,691,006 円(28.8%)、県支出金 14,670,029 円(0.3%)、などで増となったことによるものである。

不納欠損額は、前年度より 5,004,546 円(30.4%)少ない 11,452,439 円となっている。保険税のみを比較すると、【表 2】に示すとおり、5,191,325 円(31.7%)少ない 11,164,398 円で、地方税法第 18 条の規定の適用は 474 件となっている。

収入未済額は、前年度より 8,185,138 円(3.3%)少ない 239,633,886 円となっている。その主な内訳は、【表 2】に示すとおり、保険税収入の現年度分で 4,533,152 円(9.0%)増となったものの、滞納繰越分で 12,905,217 円(6.6%)減となったことによるものである。

【表 1】

款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年 度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
国民健康保険税	828,092,143	14.0	854,862,384	14.8	△26,770,241	△3.1
使用料及び手数料	997,156	0.0	939,822	0.0	57,334	6.1
国 庫 支 出 金	339,000	0.0	74,000	0.0	265,000	358.1
県 支 出 金	4,366,298,390	73.8	4,351,628,361	75.4	14,670,029	0.3
財 産 収 入	637,220	0.0	681,254	0.0	△44,034	△6.5
繰 入 金	704,727,212	11.9	547,036,206	9.5	157,691,006	28.8
諸 収 入	14,355,261	0.2	15,378,110	0.3	△1,022,849	△6.7
合 計	5,915,446,382	100.0	5,770,600,137	100.0	144,846,245	2.5

なお、保険税収入状況、保険税課税状況は【表 2～4】のとおりである。

【表 2】

保 険 税 収 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 年 度		調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
令和 5 年度	現 年 度	831,208,900	778,449,088	0	54,669,212	93.65
	滞納繰越	243,625,585	49,643,055	11,164,398	182,876,808	20.37
	計	1,074,834,485	828,092,143	11,164,398	237,546,020	77.04
令和 4 年度	現 年 度	863,451,500	815,885,901	0	50,136,060	94.49
	滞納繰越	251,093,331	38,976,483	16,355,723	195,782,025	15.52
	計	1,114,544,831	854,862,384	16,355,723	245,918,085	76.70
比較 増 減 額	現 年 度	△32,242,600	△37,436,813	0	4,533,152	△0.84
	滞納繰越	△7,467,746	10,666,572	△5,191,325	△12,905,217	4.85
	計	△39,710,346	△26,770,241	△5,191,325	△8,372,065	0.34

(注) 収入済額には還付を要する額が含まれている。

【表 3】

年度平均の世帯数及び被保険者数

(単位：世帯、人、%)

区 分 \ 年 度	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	前 年 度 比 較	
			増 減 数	増減率
世 帯 数	6,917	7,174	△257	△3.6
被 保 険 者 数	10,301	10,878	△577	△5.3

【表 4】

保 険 税 課 税 状 況

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	前 年 度 比 較	
			増 減 額	増減率
国 民 健 康 保 険 税	831,208,900	863,451,500	△32,242,600	△3.7
一世帯当りの保険税	120,169	120,358	△189	△0.2
一人当りの保険税	80,692	79,376	1,316	1.7

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
令 和 5 年 度		5,906,876,000	5,876,755,852	0	30,120,148	99.49
令 和 4 年 度		5,770,360,000	5,740,197,754	0	30,162,246	99.47
比較増減	増減額	136,516,000	136,558,098	0	△42,098	-
	増減率	2.4	2.4	-	△0.1	-

予算現額 5,906,876,000 円に対して、支出済額 5,876,755,852 円、予算現額に対する執行率 99.49%、不用額 30,120,148 円で決算されている。

支出済額を前年度と比較すると 136,558,098 円(2.4%)増加している。その内容は【表 5～6】に示すとおり、諸支出金 2,380,320 円(17.0%)などで減となったものの、国民健康保険事業費納付金 90,253,014 円(6.9%)、保険給付費 35,953,690 円(0.8%)などが増となったことによるものである。

【表 5】

款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
総 務 費	53,229,436	0.9	49,011,049	0.9	4,218,387	8.6
保 険 給 付 費	4,320,554,761	73.5	4,284,601,071	74.6	35,953,690	0.8
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	1,400,754,232	23.8	1,310,501,218	22.8	90,253,014	6.9
共 同 事 業 拠 出 金	156	0.0	166	0.0	△10	△6.0
保 健 事 業 費	89,935,047	1.5	81,377,676	1.4	8,557,371	10.5
基 金 積 立 金	637,220	0.0	681,254	0.0	△44,034	△6.5
諸 支 出 金	11,645,000	0.2	14,025,320	0.2	△2,380,320	△17.0
合 計	5,876,755,852	100.0	5,740,197,754	100.0	136,558,098	2.4

【表 6】

保 険 給 付 の 状 況

(単位：円、%)

年度 区 分		令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	前 年 度 比 較	
				増 減 額	増 減 率
一 般 被保険者	療 養 給 付 費	3,660,969,428	3,666,593,913	△5,624,485	△0.2
	療 養 費	24,880,650	26,824,952	△1,944,302	△7.2
	高 額 療 養 費	609,410,828	563,252,420	46,158,408	8.2
	高 額 介 護 合 算 療 養 費	966,547	844,801	121,746	14.4
	移 送 費	0	0	0	－
	出産育児一時金	7,816,000	7,921,380	△105,380	△1.3
	葬 祭 諸 費	4,450,000	4,550,000	△100,000	△2.2
	傷 病 手 当 金 費	38,301	1,018,356	△980,055	△96.2
	小 計	4,308,531,754	4,271,005,822	37,525,932	0.9
退 職 被保険者	療 養 給 付 費	5,271	0	5,271	皆増
	療 養 費	0	0	0	－
	高 額 療 養 費	0	0	0	－
	高 額 介 護 合 算 療 養 費	0	0	0	－
	移 送 費	0	0	0	－
	小 計	5,271	0	5,271	皆増

審 査 支 払 手 数 料	12,015,006	13,591,679	△1,576,673	△11.6
支 払 手 数 料	2,730	3,570	△840	△23.5
合 計	4,320,554,761	4,284,601,071	35,953,690	0.8
一 世 帯 当 り の 給 付 額	624,628	597,240	27,388	4.6
一 人 当 り の 給 付 額	419,431	393,878	25,553	6.5

④ む す び

本年度の決算額は、歳入で繰入金、県支出金などの増で前年度より144,846,245円(2.5%)増収の5,915,446,382円、歳出では国民健康保険事業費納付金、保険給付費などの増で136,558,098円(2.4%)増加の5,876,755,852円、収支差引で38,690,530円の黒字となり、実質収支でも同額の黒字で決算となっている。

保険税の決算額は、前年度よりも26,770,241円(3.1%)減少した828,092,143円となったが、収入率では前年度より0.34ポイント上回った77.04%となっている。また、不納欠損額は前年度より5,191,325円(31.7%)減少した11,164,398円、収入未済額は8,372,065円(3.4%)減少した237,546,020円となっている。

保険税の収入額は減少傾向が続いているが、収入率は、震災以降の平成23年度より毎年上昇している。今年度のように滞納繰越の収入率を上げるなど、事業の根幹となる保険税収入の確保に引き続き努力されたい。

(3) 魚市場事業特別会計

① 実質収支

本特別会計は、下表のとおり歳入歳出同額で決算された。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	前年度決算額	比 較 増 減	決算額対 予算現額
歳 入	175,244,000	175,204,156	190,498,260	△15,294,104	99.97
歳 出	175,244,000	175,204,156	190,498,260	△15,294,104	99.97
差 引	0	0	0	0	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠損額	収入未済額	収入率
令和5年度		175,244,000	175,445,268	175,204,156	0	241,112	99.86
令和4年度		190,537,000	190,739,372	190,498,260	0	241,112	99.87
比較 増減	増減額	△15,293,000	△15,294,104	△15,294,104	0	0	-
	増減率	△8.0	△8.0	△8.0	-	0.0	-

収入済額を前年度と比較すると 15,294,104 円(8.0%)の減収となっている。その主な内容は、【表1】に示すとおり、使用料及び手数料で 10,187,098 円(11.8%)増加したものの、繰入金で 27,568,207 円(29.0%)減になったことによるものである。

【表1】 款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
使 用 料 及 び 手 数 料	96,669,499	55.2	86,482,401	45.4	10,187,098	11.8
県 支 出 金	1,770,710	1.0	1,147,681	0.6	623,029	54.3
財 産 収 入	191	0.0	192	0.0	△1	△0.5
繰 入 金	67,509,667	38.5	95,077,874	49.9	△27,568,207	△29.0
諸 収 入	9,254,089	5.3	7,790,112	4.1	1,463,977	18.8
合 計	175,204,156	100.0	190,498,260	100.0	△15,294,104	△8.0

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
令 和 5 年 度		175,244,000	175,204,156	0	39,844	99.97
令 和 4 年 度		190,537,000	190,498,260	0	38,740	99.97
比 較 増 減	増減額	△15,293,000	△15,294,104	0	1,104	-
	増減率	△8.0	△8.0	-	2.8	-

予算現額 175,244,000 円に対し、支出済額 175,204,156 円、執行率 99.97%、不用額 39,844 円で決算されている。

支出済額を前年度と比較すると 15,294,104 円(8.0%)減少している。その内容は【表 2】に示すとおり、市場費 8,542,586 円(5.3%)、公債費 6,751,518 円(23.3%)の減によるものである。

なお、本年度末における市債の未償還現在高は 367,200,298 円となっている。

【表 2】 款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
市 場 費	152,967,018	87.3	161,509,604	84.8	△8,542,586	△5.3
公 債 費	22,237,138	12.7	28,988,656	15.2	△6,751,518	△23.3
合 計	175,204,156	100.0	190,498,260	100.0	△15,294,104	△8.0

【表 3】 魚市場水揚高及び使用料の状況

(単位:kg、円、%)

種 別 区 分	水 揚 高				使 用 料	
	数 量	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
鮮 魚	6,543,975.5	110.0	8,958,046,997	107.5	45,619,683	107.5
一 本 釣 船	2,726,441.0	225.8	1,077,000,846	188.7	5,484,724	188.7
搬 入 魚	2,058,910.0	107.2	1,288,857,867	103.6	6,563,627	103.6
輸 入 冷 凍 魚	0.0	-	0	-	0	-
合 計	11,329,326.5	124.8	11,323,905,710	111.6	57,668,034	111.6

(注) 水揚金額及び使用料は、消費税を含んだ金額である。

【表 4】

魚 市 場 水 揚 高 の 推 移

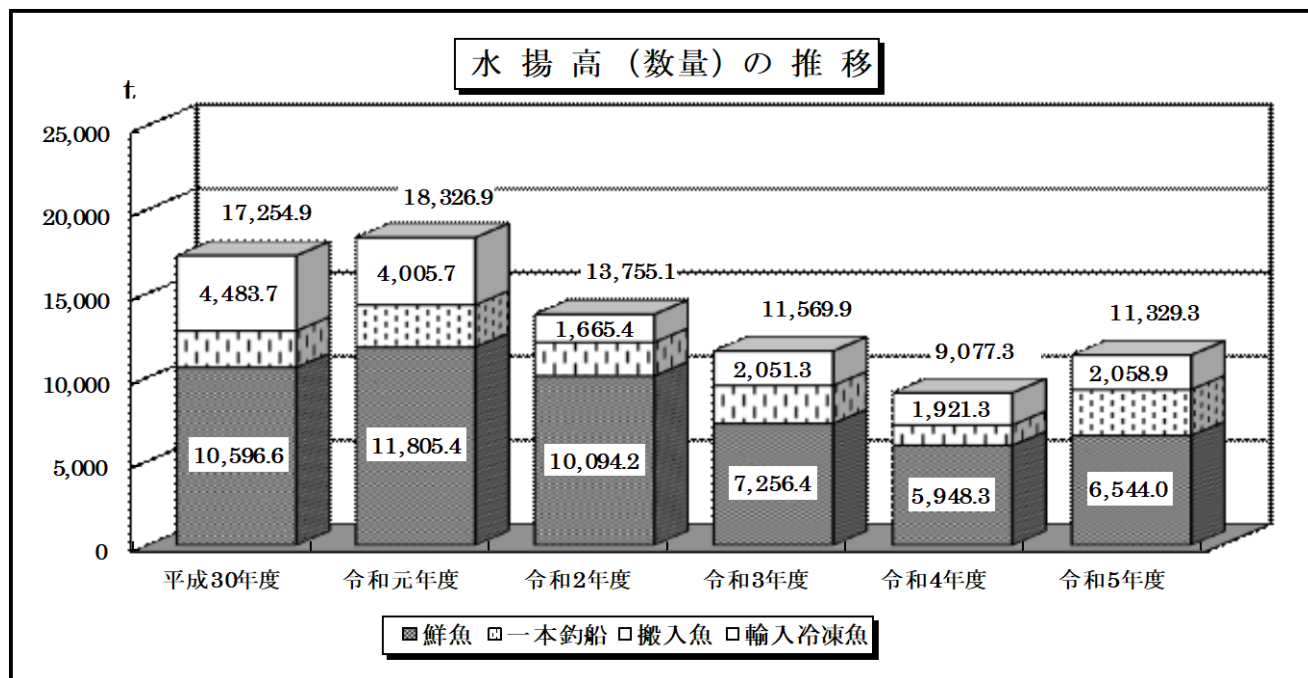
(単位:kg、円、%、隻、台)

水揚高 年 度		数 量		金 額			入港漁船 (車)数
		水揚数量(kg)	すう勢 比 率	水揚金額(円)	すう勢 比 率	対前年度増減	
鮮 魚	30 年 度	10,596,564.8	100.0	6,663,098,178	100.0	△151,565,305	1,730
	元 年 度	11,805,372.5	111.4	6,525,487,336	97.9	△137,610,842	1,622
	2 年 度	10,094,164.2	95.3	6,005,294,284	90.1	△520,193,052	1,592
	3 年 度	7,256,426.3	68.5	6,507,834,333	97.7	502,540,049	1,561
	4 年 度	5,948,343.6	56.1	8,330,928,672	125.0	1,823,094,339	1,545
	5 年 度	6,543,975.5	61.8	8,958,046,997	134.4	627,118,325	1,504
一 本 釣 船	30 年 度	2,174,641.0	100.0	585,044,010	100.0	108,611,961	11
	元 年 度	2,515,804.0	115.7	545,782,775	93.3	△39,261,235	9
	2 年 度	1,995,529.0	91.8	591,349,085	101.1	45,566,310	8
	3 年 度	2,262,161.0	104.0	582,238,969	99.5	△9,110,116	8
	4 年 度	1,207,672.0	55.5	570,789,666	97.6	△11,449,303	5
	5 年 度	2,726,441.0	125.4	1,077,000,846	184.1	506,211,180	10
搬 入 魚	30 年 度	4,483,708.7	100.0	2,401,909,698	100.0	△1,385,358,644	5,919
	元 年 度	4,005,728.2	89.3	1,837,691,476	76.5	△564,218,222	5,482
	2 年 度	1,665,424.1	37.1	1,030,200,581	42.9	△807,490,895	4,007
	3 年 度	2,051,290.6	45.7	1,308,712,479	54.5	278,511,898	3,725
	4 年 度	1,921,310.1	42.9	1,244,585,044	51.8	△64,127,435	3,247
	5 年 度	2,058,910.0	45.9	1,288,857,867	53.7	44,272,823	3,124
輸 入 冷 凍 魚	30 年 度	0.0	－	0	－	△7,226,672	0
	元 年 度	0.0	－	0	－	0	0
	2 年 度	0.0	－	0	－	0	0
	3 年 度	0.0	－	0	－	0	0
	4 年 度	0.0	－	0	－	0	0
	5 年 度	0.0	－	0	－	0	0
合 計	30 年 度	17,254,914.5	100.0	9,650,051,886	100.0	△1,435,538,660	7,660
	元 年 度	18,326,904.7	106.2	8,908,961,587	92.3	△741,090,299	7,113
	2 年 度	13,755,117.3	79.7	7,626,843,950	79.0	△1,282,117,637	5,607
	3 年 度	11,569,877.9	67.1	8,398,785,781	87.0	771,941,831	5,294
	4 年 度	9,077,325.7	52.6	10,146,303,382	105.1	1,747,517,601	4,797
	5 年 度	11,329,326.5	65.7	11,323,905,710	117.3	1,177,602,328	4,638

(注) 1 水揚金額は、消費税を含んだ金額である。

2 すう勢比率は平成 30 年度を基準年度とした。

図 1



魚市場の水揚げ高及び使用料、並びに平成30年度からの推移は【表3～4】および図1に示すとおりである。

前年度と比較してみると、水揚げ数量で2,252.0t(24.8%)増となり、水揚げ金額で1,177,602,328円(11.6%)、市場使用料で5,997,050円(11.6%)それぞれ増となっている。

④ む す び

本年度は、歳入歳出同額の175,204,156円で決算されている。

水揚げについては、数量で鮮魚、一本釣船、搬入魚がそれぞれ増加しており、前年度より2,252.0t(24.8%)増の11,329tとなっており、金額でも1,177,602,328円(11.6%)増収の11,323,905,710円となっている。今年度は水揚げ数量、金額、それぞれ増となった。

一方歳出では、15,294,104円(8.0%)の減少となっている。このため、一般会計からの繰入金金が27,568,207円(29.0%)の減となって決算されている。

今後も、魚市場の適正かつ有効な管理運営に努力するとともに、効果的な漁船誘致策の実施による水揚げ数量、金額の増加に取り組んでもらい、本市の基幹産業である水産業発展のために努力して欲しい。

(4) 介護保険事業特別会計

【保険事業勘定】

① 実質収支

本事業勘定は、下表のとおり歳入歳出差引 19,052,972 円の黒字となり、全額基金に繰入れて決算された。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	前年度決算額	比 較 増 減	決算額対 予算現額
歳 入	5,896,794,000	5,894,527,987	5,875,490,657	19,037,330	99.96
歳 出	5,896,794,000	5,875,475,015	5,859,195,585	16,279,430	99.63
差 引	0	19,052,972	16,295,072	2,757,900	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	収入率
令和5年度		5,896,794,000	5,934,947,611	5,894,527,987	15,007,616	27,091,588	99.31
令和4年度		5,877,032,000	5,923,642,881	5,875,490,657	18,594,978	31,522,402	99.18
比較 増減	増減額	19,762,000	11,304,730	19,037,330	△3,587,362	△4,430,814	-
	増減率	0.3	0.2	0.3	△19.3	△14.1	-

(注) 収入済額には、還付を要する額(5年度 1,679,580 円、4年度 1,965,156 円)が含まれている。

収入済額を前年度と比較すると、金額では 19,037,330 円 (0.3%) の増収となり、収入率も 0.13 ポイント上回った 99.31% となっている。その内容は【表 1】に示すとおり、国庫支出金 21,436,983 円 (1.5%) など減となったが、繰入金 31,471,731 円 (3.3%) などが増となったことによるものである。

不納欠損額は、前年度より 3,587,362 円 (19.3%) 減の 15,007,616 円である。

収入未済額は、前年度より 4,430,814 円 (14.1%) 減の 27,091,588 円で、その内訳は保険料収入の現年度分 13,258,340 円、滞納繰越分 13,817,648 円、雑入 15,600 円となっている。

【表 1】 款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
保 険 料	1, 202, 641, 938	20. 4	1, 209, 588, 224	20. 6	△6, 946, 286	△0. 6
使 用 料 及 び 手 数 料	81, 800	0. 0	88, 300	0. 0	△6, 500	△7. 4
国 庫 支 出 金	1, 402, 564, 049	23. 8	1, 424, 001, 032	24. 2	△21, 436, 983	△1. 5
支 払 基 金 交 付 金	1, 473, 781, 000	25. 0	1, 457, 199, 458	24. 8	16, 581, 542	1. 1
県 支 出 金	818, 610, 028	13. 9	815, 173, 642	13. 9	3, 436, 386	0. 4
財 産 収 入	363, 998	0. 0	311, 420	0. 0	52, 578	16. 9
繰 入 金	990, 740, 318	16. 8	959, 268, 587	16. 3	31, 471, 731	3. 3
諸 収 入	5, 744, 856	0. 1	9, 859, 994	0. 2	△4, 115, 138	△41. 7
合 計	5, 894, 527, 987	100. 0	5, 875, 490, 657	100. 0	19, 037, 330	0. 3

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
令 和 5 年 度		5, 896, 794, 000	5, 875, 475, 015	0	21, 318, 985	99. 63
令 和 4 年 度		5, 877, 032, 000	5, 859, 195, 585	0	17, 836, 415	99. 69
比 較 増 減	増減額	19, 762, 000	16, 279, 430	0	3, 482, 570	－
	増減率	0. 3	0. 3	－	19. 5	－

予算現額 5,896,794,000 円に対して、支出済額は 5,875,475,015 円、執行率 99.63%、不用額 21,318,985 円で決算されている。

支出済額を前年度と比較すると 16,279,430 円(0.3%)増加している。その内容は【表 2】に示すとおり、基金積立金で 59,065,000 円(30.6%)が減となったが、介護給付費 54,235,110 円(1.1%)、諸支出金 15,730,850 円(16.8%)などが増となったことによるものである。

【表 2】 款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
総 務 費	97, 292, 339	1. 7	93, 383, 264	1. 6	3, 909, 075	4. 2
介 護 給 付 費	5, 210, 633, 707	88. 7	5, 156, 398, 597	88. 0	54, 235, 110	1. 1
基 金 積 立 金	133, 991, 000	2. 3	193, 056, 000	3. 3	△59, 065, 000	△30. 6
地 域 支 援 事 業 費	324, 342, 348	5. 5	322, 872, 953	5. 5	1, 469, 395	0. 5
諸 支 出 金	109, 215, 621	1. 9	93, 484, 771	1. 6	15, 730, 850	16. 8
合 計	5, 875, 475, 015	100. 0	5, 859, 195, 585	100. 0	16, 279, 430	0. 3

介護保険の利用状況を示す介護給付費 5,210,633,707 円の内訳は【表 3】のとおりである。

【表 3】 介 護 給 付 費 の 内 訳

(単位：件、円)

種 別		令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較 増 減		
		延件数	給 付 額	延件数	給 付 額	延件数	給 付 額	
居 宅 介 護	訪 問 介 護	6,293	521,198,941	6,242	486,679,548	51	34,519,393	
	訪 問 入 浴 介 護	673	39,511,909	720	40,477,973	△47	△966,064	
	訪 問 看 護	3,912	148,303,293	3,638	133,457,544	274	14,845,749	
	訪 問 リ ハ ビ リ ン テ ー シ ョ ン	1,011	29,870,085	868	27,149,119	143	2,720,966	
	居 宅 療 養 管 理 指 導	8,634	54,784,179	8,142	49,343,396	492	5,440,783	
	通 所	介 護 サ ー ビ ス	9,082	653,245,074	8,595	624,708,109	487	28,536,965
		リ ハ ビ リ ン テ ー シ ョ ン	3,472	169,379,283	3,597	183,244,607	△125	△13,865,324
	短 期 入 所 生 活 介 護	2,438	216,034,466	2,484	222,281,233	△46	△6,246,767	
	福 祉 用 具 貸 与	15,849	180,989,544	15,500	180,506,391	349	483,153	
	福 祉 用 具 購 入 費	239	7,919,399	222	6,524,592	17	1,394,807	
	住 宅 改 修 費	157	15,762,582	160	16,085,465	△3	△322,883	
	特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	1,069	176,431,916	1,175	200,725,905	△106	△24,293,989	
	小 計	52,829	2,213,430,671	51,343	2,171,183,882	1,486	42,246,789	
	地 域 密 着 型	認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	330	33,402,473	290	26,290,689	40	7,111,784
小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護		229	41,292,345	236	43,478,033	△7	△2,185,688	
認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護		1,266	314,276,561	1,262	313,746,169	4	530,392	
地 域 密 着 型 通 所 介 護		794	61,560,228	886	67,970,945	△92	△6,410,717	
介 護 老 人 福 祉 施 設 入 所 者 生 活 介 護		678	197,719,078	678	194,693,215	0	3,025,863	
定 期 巡 回 随 時 対 応 型 訪 問 看 護		304	53,063,947	305	49,213,575	△1	3,850,372	
小 計		3,601	701,314,632	3,657	695,392,626	△56	5,922,006	
施 設 介 護	介 護 老 人 福 祉 施 設	2,363	632,387,324	2,240	587,418,936	123	44,968,388	
	介 護 老 人 保 健 施 設	3,936	1,096,551,211	4,054	1,121,244,931	△118	△24,693,720	
	介 護 療 養 型 医 療 施 設	0	0	13	2,157,993	△13	△2,157,993	
	介 護 医 療 院	103	19,749,542	87	29,564,775	16	△9,815,233	
	小 計	6,402	1,748,688,077	6,394	1,740,386,635	8	8,301,442	
居 宅 介 護 支 援（計 画）		21,932	266,770,873	21,407	265,613,032	525	1,157,841	
高 額 介 護 サ ー ビ ス 費		10,388	124,855,448	9,905	126,949,947	483	△2,094,499	
高 額 医 療 合 算 介 護 サ ー ビ ス 費		551	17,958,050	576	16,721,529	△25	1,236,521	
審 査 支 払 手 数 料		83,338	4,829,562	81,684	4,901,040	1,654	△71,478	
特 定 入 所 者 介 護 サ ー ビ ス 費		5,184	132,786,394	5,215	135,041,229	△31	△2,254,835	
保 険 給 付 費 合 計		184,225	5,210,633,707	180,181	5,156,189,920	4,044	54,443,787	
利 用 者 負 担 免 除 に 伴 う 負 担 額		－	0	－	208,677	－	△208,677	
介 護 給 付 費 合 計		－	5,210,633,707	－	5,156,398,597	－	54,235,110	

【表 4】

要介護(要支援)申請件数及び認定件数の比較

(単位：件)

区 分 種 別		申 請 件 数			認 定 件 数			却下・取下げ			非 該 当		
		5年度	4年度	増減数	5年度	4年度	増減数	5年度	4年度	増減数	5年度	4年度	増減数
新規	1号被保険者	919	877	42	879	750	129	45	47	△2	51	67	△16
	2号被保険者	27	24	3	27	18	9	1	2	△1	2	0	2
更新	1号被保険者	1,294	1,451	△157	1,345	1,409	△64	19	33	△14	10	24	△14
	2号被保険者	25	40	△15	27	33	△6	0	0	0	0	0	0
区分変更	1号被保険者	683	692	△9	644	545	99	50	53	△3	0	0	0
	2号被保険者	13	9	4	12	7	5	0	0	0	0	0	0
合 計	1号被保険者	2,896	3,020	△124	2,868	2,704	164	114	133	△19	61	91	△30
	2号被保険者	65	73	△8	66	58	8	1	2	△1	2	0	2
	計	2,961	3,093	△132	2,934	2,762	172	115	135	△20	63	91	△28

(注) 1号被保険者は65歳以上、2号被保険者は40歳から64歳までを表している。

【表 5】

令和5年度末認定者数内訳

(単位：人)

区 分 種 別		要 支 援		要 介 護					合 計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
1号被保険者		832	394	789	492	329	435	299	3,570
2号被保険者		10	15	17	13	8	4	9	76
合 計		842	409	806	505	337	439	308	3,646

【介護サービス事業勘定】

① 実 質 収 支

本事業勘定は、下表のとおり歳入歳出同額で決算された。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額	前年度決算額	比 較 増 減	決算額対 予算現額
歳 入	490,000	487,425	497,271	△9,846	99.47
歳 出	490,000	487,425	497,271	△9,846	99.47
差 引	0	0	0	0	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	収入率
令和5年度		490,000	487,425	487,425	0	0	100.00
令和4年度		499,000	497,271	497,271	0	0	100.00
比較 増減	増減額	△9,000	△9,846	△9,846	0	0	-
	増減率	△1.8	△2.0	△2.0	-	-	-

収入済額を前年度と比較すると、金額で9,846円(2.0%)の減収となっている。その内容は【表1】に示すとおり繰入金で減となったことによるものである。

【表1】 款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令和5年度		令和4年度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
サービス収入	327,360	67.2	264,420	53.2	62,940	23.8
繰 入 金	160,065	32.8	232,851	46.8	△72,786	△31.3
合 計	487,425	100.0	497,271	100.0	△9,846	△2.0

サービス収入の内訳は、全額居宅支援サービス計画費収入で新規4件、継続68件である。

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
令 和 5 年 度		490,000	487,425	0	2,575	99.47
令 和 4 年 度		499,000	497,271	0	1,729	99.65
比 較 増 減	増減額	△9,000	△9,846	0	846	-
	増減率	△1.8	△2.0	-	48.9	-

予算現額 490,000 円に対して、支出済額は 487,425 円、執行率 99.47%、不用額 2,575 円で決算されている。

支出済額を前年度と比較すると、9,846 円(2.0%)減少している。その内訳は【表 2】に示すとおり、総務費、事業費でそれぞれ減となったことによるものである。

【表 2】 款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年 度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
総 務 費	363,635	74.6	373,274	75.1	△9,639	△2.6
事 業 費	123,790	25.4	123,997	24.9	△207	△0.2
合 計	487,425	100.0	497,271	100.0	△9,846	△2.0

④ む す び

本年度の保険事業勘定の決算額は、歳入で前年度より 19,037,330 円(0.3%)増の 5,894,527,987 円、歳出は 16,279,430 円(0.3%)増の 5,875,475,015 円で収支差引 19,052,972 円の黒字で決算されている。

歳入の状況をみると、収入率は 99.31%と前年度より 0.13 ポイント上回っており、収入未済額は 4,430,814 円(14.1%)減少して 27,091,588 円、不納欠損額も 3,587,362 円(19.3%)減少し 15,007,616 円となっている。

本年度末の要介護(要支援)認定者数は、前年度より 19 人(0.5%)減の 3,646 人となり、介護給付費は、前年度に比べ 54,235,110 円(1.1%)増の 5,210,633,707 円となっている。

介護給付費に関しては増加傾向が続いていることから、介護予防と健康づくりや認知症施策等の推進を図るとともに保険料の収入率をさらに上げるなど安定した事業運営に努力されたい。

また、介護サービス勘定については、歳入歳出とも 487,425 円の同額で決算されている。

(5) 後期高齢者医療事業特別会計

① 実 質 収 支

本特別会計は、下表のとおり歳入歳出差引額 13,557,700 円の黒字で決算された。

(単位：円、%)

区 分	予算現額	決 算 額	前年度決算額	比較増減	決算額対 予算現額
歳 入	805,657,000	818,709,979	797,625,187	21,084,792	101.62
歳 出	805,657,000	805,152,279	788,945,287	16,206,992	99.93
差 引	0	13,557,700	8,679,900	4,877,800	-

② 歳 入

(単位：円、%)

区 分 年 度		予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
令和5年度		805,657,000	822,628,879	818,709,979	492,500	5,067,700	99.52
令和4年度		789,451,000	800,782,287	797,625,187	1,457,600	4,538,700	99.60
比較 増減	増減額	16,206,000	21,846,592	21,084,792	△965,100	529,000	-
	増減率	2.1	2.7	2.6	△66.2	11.7	-

(注) 収入済額は、還付を要する額(5年度 1,641,300 円、4年度 2,839,200 円)が含まれている。

予算現額 805,657,000 円に対し、収入済額 818,709,979 円で決算されている。

収入済額を前年度と比較すると 21,084,792 円(2.6%)の増収となっている。その内訳は【表 1】に示すとおり、後期高齢者医療保険料、繰入金などで増となったことによるものである。

【表 1】 款 別 歳 入 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

款 名 年 度	令和5年度		令和4年度		前年度比較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	611,882,400	74.7	596,743,200	74.8	15,139,200	2.5
使用料及び手数料	148,400	0.0	147,900	0.0	500	0.3
繰 入 金	197,788,879	24.2	190,828,386	23.9	6,960,493	3.6
繰 越 金	8,679,900	1.1	6,693,800	0.8	1,986,100	29.7
諸 収 入	210,400	0.0	3,211,901	0.4	△3,001,501	△93.4
合 計	818,709,979	100.0	797,625,187	100.0	21,084,792	2.6

③ 歳 出

(単位：円、%)

区 分 年 度		予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
令 和 5 年 度		805,657,000	805,152,279	0	504,721	99.93
令 和 4 年 度		789,451,000	788,945,287	0	505,713	99.93
比 較 増 減	増減額	16,206,000	16,206,992	0	△992	-
	増減率	2.1	2.1	-	△0.2	-

予算現額 805,657,000 円に対し、支出済額は 805,152,279 円、執行率 99.93%、不用額 504,721 円で決算されている。その内訳は【表 2】に示すとおりで、後期高齢者医療広域連合納付金などで前年度と比較し増となっている。

【表 2】 款 別 歳 出 決 算 額 の 比 較

(単位：円、%)

年 度 款 名	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		前 年 度 比 較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
総 務 費	27,251,031	3.4	29,426,995	3.7	△2,175,964	△7.4
後期高齢者医療 広域連合納付金	775,500,148	96.3	758,062,392	96.1	17,437,756	2.3
諸 支 出 金	2,401,100	0.3	1,455,900	0.2	945,200	64.9
合 計	805,152,279	100.0	788,945,287	100.0	16,206,992	2.1

④ む す び

本年度の決算額は、歳入歳出差引で 13,557,700 円の黒字で決算されている。この黒字は、後期高齢者医療保険料を徴収した年度と広域連合に納付する時期のずれがあるために生じているものである。

なお、歳出は、総額 805,152,279 円で前年度と比較すると、後期高齢者医療広域連合納付金などの増により 16,206,992 円(2.1%)増となっている。